

JAPAN SPORT NETWORK

川崎市×日本スポーツ振興センター共催事業

「スポーツインクルージョン縁日」

募 金 趣 意 書

独立行政法人日本スポーツ振興センター

川崎市×日本スポーツ振興センター共催事業
「スポーツインクルージョン縁日」のための協賛等のお願い

この度、独立行政法人日本スポーツ振興センターは、JAPAN SPORT NETWORK の活動の一環として、神奈川県川崎市と「川崎市×日本スポーツ振興センター共催事業「スポーツインクルージョン縁日」」を川崎市にて開催することとなりました。

JAPAN SPORT NETWORK とは、日本スポーツ振興センターと地方自治体によるネットワークの構築により、地域社会の課題を解決し、地域スポーツをさらに発展させるスポーツ施策の企画に役立つ、良質で信頼性のある最新情報・知識と、先駆的な取組みを試みる機会と経験の提供を目的とするものです。

「スポーツインクルージョン縁日」では、障がいの有無に関わらず、障がい者と健常者が一緒に取り組める、または共同して取り組めるスポーツプログラムを実施していきます。

本事業の実施は、スポーツを通じたインクルージョン経験を通した「参加者のインクルージョン社会への理解促進」、「障がい者の健康保持・増進における身体活動の重要性に対する理解促進」及び「スポーツを通じたインクルージョンの政策的位置付けの強化」を促す貴重な機会となることが期待されます。

しかしながら、JAPAN SPORT NETWORK の活動にあたり必要となる経費については、日本政府の運営費交付金を活用しているところではありますが、一部に不足が見込まれることから、今般、特段の御協力をいただきたく協賛等をお願い申し上げる次第です。

協賛等いただきます御資金は、「スポーツインクルージョン縁日」の準備運営等に充当し、本事業の開催により、JAPAN SPORT NETWORK の活動を通した我が国の社会課題の解決のために有益に使用させていただきますので、本事業の趣旨を御理解いただき、何卒御協力いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

独立行政法人日本スポーツ振興センター
情報・国際部長 和久 貴洋

JAPAN SPORT NETWORK
川崎市×日本スポーツ振興センター共催事業
「スポーツインクルージョン縁日」
募金趣意書

1 名 称

JAPAN SPORT NETWORK 川崎市×日本スポーツ振興センター共催事業
「スポーツインクルージョン縁日」

2 実施主体

主 催 独立行政法人日本スポーツ振興センター
共 催 川崎市、高津スポーツセンター
協 力 NPO 法人高津総合型スポーツクラブ SELF

3 日 時

平成29年1月21日（土）

4 場 所

高津スポーツセンター 体育館及び研修室
〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子3-15-1

5 目 的

障がいの有無に関わらず、障がい者と健常者が一緒に取り組める、または共同して取り組めるスポーツプログラムを実施し、スポーツを通じたインクルージョン経験を通して、次の目的を達成します。

- ①プログラム参加者のインクルージョン社会への理解促進
- ②障がい者の健康保持・増進における身体活動の重要性に対する理解促進
- ③市民のインクルージョン社会への理解促進
- ④スポーツを通じたインクルージョンの政策的位置付けの強化

6 事業内容

(1) 概要

「スポーツインクルージョン縁日」は、参加児童・生徒向けのスポーツプログラム、保護者向けのスポーツ文化教養プログラム、参加者全員で実施するスポーツインクルージョンプログラムの3つプログラムから構成される。

①スポーツプログラム

スポーツプログラムでは、ダンス、カローリング、ゴールボールの体験型プログラムが提供される。参加者は、参加することでもらえるスタンプを集めることで「お菓子掴み取り」ができる。

②スポーツ文化教養プログラム

保護者向けのプログラムであるスポーツ文化教養プログラムは、保護者のスポーツやインクルージョンに対する理解促進を図る教養講座に加え、保護者が抱える日常の様々なストレスから解放することを目的としたヨガやストレッチなどのプログラムを提供する。

③スポーツインクルージョンプログラム

障がいの有無を問わず誰もが参加することができる共生型スポーツ（卓球バレー、シッティングバレー等）を（障がいの有無、年齢に関係なく）参加者全員で実施し、スポーツを通じてインクルージョン社会を作り出すことの意味や大切さについて考える。

(2) プログラム日程（予定）

	スポーツ	文化教養	インクルージョン
10:00	開会式		
10:15	ダンス、カローリング、ゴールボール体験	①アイスブレイク・交流 ②教養講座1 ③ヨガ・ストレッチ	卓球バレー、シッティングバレー体験
12:30	休憩		
13:45	ダンス、カローリング、ゴールボール体験	①教養講座2 ②ヨガ・ストレッチ	卓球バレー、シッティングバレー体験
16:45	閉会式		
17:00	終了		

(3) 集客見込み

川崎市内の児童・生徒及び障がいを持つ児童・生徒、100名とその保護者に加え、川崎市在勤の障がいを持つ社会人の参加を見込んでいる。

(4) その他

イベント会場内に展示ブースエリアを設定し、展示ブースでの商品展示等を行うことができる。

7 資金の調達を必要とする理由

JAPAN SPORT NETWORK 事業は、平成25年の事業開始以降、日本政府の運営費交付金を財源として活動を行っていますが、運営費交付金だけでは十分な事業展開が難しいというのが現状であり、必要経費の一部を協賛等のご援助に頼らざるをえません。川崎市との共催事業である「スポーツインクルージョン縁日」に要する予算は協賛等によって充当する予定であり、本事業を成功させるために、何卒ご支援をお願いいたします。

8 予算額

収入

区分	金額	備考
協賛金等	570,000 円	
合計	570,000 円	

支出

区分	金額	備考
謝金	326,000 円	指導者等謝金
保守等業務委託費	200,000 円	準備、運営業務
旅費	24,000 円	指導者等交通費
保険料	20,000 円	イベント保険
合計	570,000 円	

JAPAN SPORT NETWORK
川崎市×日本スポーツ振興センター共催事業
「スポーツインクルージョン縁日」
協賛金等募集要項

1. 募金の名称

JAPAN SPORT NETWORK 川崎市×日本スポーツ振興センター共催事業
「スポーツインクルージョン縁日」

2. 募金の目標額

57万円

3. 募集期間

平成28年12月27日から平成29年1月20日

4. 募集する協賛金等の種類

(1) 広告協賛

本事業における各種製作物等の所定の箇所に広告を提出、イベントでのブース展開等によりその資金を提供するもの。

協賛金の額：1口 1万円から

(2) 寄附

広告掲出等によらず、本事業の運営に必要な資金を提供するもの。

寄附金の額：任意の金額による

5. 広告協賛者に対する機会・サービスの提供

① 展示ブースの出展

イベント会場内に展示ブースエリアを設定し、展示ブースでの商品展示等を通じて来場者に対して直接的なアプローチをすることができます。

② チラシ、商品サンプルの配布

イベント会場内で、参加者に対してチラシや商品サンプルを配布することができます。

③ その他

6. 協賛金等の使途

独立行政法人日本スポーツ振興センターが実施する「川崎市×日本スポーツ振興センター共催事業「スポーツインクルージョン縁日」」の準備運営等の費用に充当する他、募金目標額を上回った場合には日本スポーツ振興センターが実施する JAPAN SPORT NETWORK の活動に要する費用に充当することがあります。

7. 協賛金等申込み方法

別紙様式「寄附申込書・協賛申込書」を下記宛先までご郵送ください。

【書類郵送先】

住所：〒107-0061 東京都港区北青山2-8-35

宛先：独立行政法人日本スポーツ振興センター 情報・国際部 企画運営課
JAPAN SPORT NETWORK 事業担当

8. 協賛金等の管理方法

協賛金等は、独立行政法人日本スポーツ振興センターが管理します。

9. 免税措置

日本スポーツ振興センターへの寄附金は、特定公益増進法人に対する寄附金として、寄附（2,000円以上）が個人による場合は、所得より「寄附控除」の適用を受け、法人による場合は、「寄附金損金算入」の特例が適用され、税制上の優遇措置が認められます。（関係法令：所得税法第78条第1項・第2項第3号、所得税法施行令第217条第3号、法人税法第37条第3項第3号及び法人税法施行令第77条第1号）

10. 個人情報の取り扱いについて

申込書に含まれる個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び本センターの「独立行政法人日本スポーツ振興センターが保有する個人情報の管理規則」に基づき厳重に管理し、寄附者のデータ管理及び事務管理以外には使用しません。

【問い合わせ先】

独立行政法人日本スポーツ振興センター 情報・国際部 企画運営課
JAPAN SPORT NETWORK 事業担当
〒107-0061 東京都港区北青山2-8-35
電話：03-5410-9161 FAX：03-5410-8870
E-mail：jsnet@jpnnsport.go.jp